

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワンステップスマイル中原教室		公表日		2026年 3月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	部屋を分けて、利用者の心身の状況に配慮した配置をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	職員がマンツーマンに近い状態で配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	パーティションなどを使い、プログラムへの集中や活動の妨げにならないような工夫をしている。	お子様の状況や特性に配慮した環境設定を今後も意識する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	支援終了後（1日2回）清掃と消毒をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	必要に応じて使える別室を使用。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	支援記録をもとに振り返りを実施している。毎日の終礼にて支援方法についても共有をしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年に1回の評価と、保護者会でいただいたご意見をもとに業務改善の振り返りをおこなっている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	現場からの意見を伝えやすいように配慮されている。毎日の終礼で意見の伝達や相談を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		必要に応じて今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	教室内での研修や、研修システムなどで研修受講する機会があり、支援の質の向上につながるようにしている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	保護者との面談で丁寧に聞き取るよう努めている。また複数の視点で支援計画書の作成や更新を行っている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	毎月の職場会議などで協議・検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	朝礼・終礼時での共有や、回覧ツールを活用しての共通理解としている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	行動の状況をモニタリングし記録し活用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	本人、ご家族だけでなく、相談支援員や利用者を取りまくその他の機関と連携したうえで設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	特定のスタッフを中心に月に1回の会議にて立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	月単位で予定を立てている。専門職等のそれぞれの視点から、色々な活動や製作を考えて工夫している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	必要に応じて環境設定を行ったうえでそれぞれの活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼にて確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼時に共有や振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日報や連絡帳にて日々の支援を記録している。また利用者ごとに個別の記録もとっている。	記録をペーパーレス化・デジタル化へ向けて移行中
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	モニタリングや情報共有時に必要に応じた支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達管理責任者をはじめ、主任以上のスタッフが参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	当教室の担当者から、市の障害福祉課や、園や学校などと連携できるように体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	必要に応じて会議や情報共有の機会を作り、情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	児童発達管理責任者、支援リーダーが必要な子どもに応じて個別に対応している。	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	0	顔の見える関係づくりができていないため、必要に応じて相談する場を設けることができていない。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	地域との関わりを大切に、交流を意識している。	今後、さらに地域での交流の機会を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	定期のモニタリング時以外にも、毎日の活動後の連絡のやりとりなどを行い共通理解を深めている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	ペアトレなどの研修は行っていないが、個別相談などの形で日々保護者支援として情報提供を行っている。	家族支援の周知と情報提供などの機会を増やしていく。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に必ず実施している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	契約時のアセスメント、面談時、個別に寄せられる相談などから家族の意向を聞き取り子供の最善の利益に考慮したサービス提供を行っている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	同意をもって実際の支援を行っている。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	モニタリング以外にもその都度、相談や助言をしている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	保護者会を開催している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	保護者様にとって利便性の高い連絡方法で対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月のお便りやSNS配信をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	管理には十分に注意し、入職に説明を行っている。個人情報に関する研修も定期的に行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	伝え方や行動分析、環境調整に留意し、職員間で共有し支援にあたっている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		11月開所したばかりなので、今後地域との関係を築いたうえで検討していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	各マニュアルを作成し、研修を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	各マニュアルを作成し、研修を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	情報用紙に記入をお願いして、職員間で共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	研修で安全管理について学んでいる。	さらなる物資の充実。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2	発生した際に共有や検討できるように整えている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	定期の研修以外にも、地域研修などで積極的に職員を受講させている。その後、事業所で伝達講習をしてフィードバックを行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	身体拘束防止委員会において適切に協議のうえ、児・保護者へ説明したうえで支援計画に記載している。		